

2. G I G Aスクール構想についてお聞きします。G I G Aスクール構想は、学校における高速大容量のネットワーク環境（校内 LAN）の整備を推進するとともに、義務教育段階で令和 5 年までに全学年の児童生徒一人一人がそれぞれの端末を持ち十分に活用できる環境の実現を目指すという、いわば国策といえる大きな構想で、本市においても補正予算 14 億円・新年度予算 10 億 4 千万円という巨額のプロジェクトになっています。

今回の G I G Aスクール構想は、昨年 12 月 5 日に政府の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」で出されたものであり、13 日に閣議決定された令和元年度補正予算で盛り込まれたもので、本市の教育委員会にその情報が下りてきたのが 12 月 27 日とお聞きしています。私は今回提示された補正

2003 第 1 回定例会 個人質問

予算と新年度予算のなかで、G I G Aスクール構想に一番驚きましたが、このような国策であるビッグプロジェクトが急に国から降ろされてきて時間のないままに準備するときに、現場の教育委員会に混乱はないのか、これまで粛々として進めてきた I C T政策との整合性をつけながら実のあるものにできるのかお答えください。また教育施策は現場の教員のモチベーションが最も大切であるのに、小中一貫教育を昨年からスタートして現場にその意識が十分に徹底していない中で、新たに G I G Aスクール構想が現場の教員に徹底するのか、研修のシステムがうまく機能するのか、市のお考えをお聞かせください。

次に G I G Aスクール構想の実現で、教育がどのように変わるのかお聞きします。第 3 期教育振興基本計画の中でも、

2003 第 1 回定例会 個人質問

Society4.0 から超スマートシティを目指す Society5.0 への大きな時代の変わり目の中で、2030 年以降の社会の変化を見据えた教育政策の在り方をテーマにしていますし、小学校では令和 2 年度から、中学校では 3 年度からはじまる新しい学習指導要領でも、知識習得を重視した教育から大きく変化していく社会に対応できる生きる力を育てることが重視され、アクティブラーニングやプログラミング教育が取り入れられると聞いています。萩生田文部科学大臣もメッセージの中で「これからの学校教育は劇的に変わります」と明言されています。東大阪の教育がどう変わろうとしているのか、お答えください。

最後に G I G Aスクール構想の実現には、各自治体首長の強いリーダーシップが必要であると、萩生田大臣は述べています。

2003 第 1 回定例会 個人質問

G I G Aスクール構想の実施を手段として東大阪の教育にかける市長並びに教育長の強い決意をお聞きいたします。

2003 第 1 回定例会 個人質問